

ここにレポートのタイトルを記入

地球総合工学科 B3 XXXXXXXXX(学籍番号) 古賀 光一郎

2025 年 10 月 11 日

1 画像の挿入例

画像を挿入するには、`figure` 環境と `\includegraphics` コマンドを使います。`width=\linewidth` は、画像の横幅を本文の幅に合わせるオプションです。`\cref{fig:sample-image}` のように書くと、自動で「図 1」のように表示してくれます。

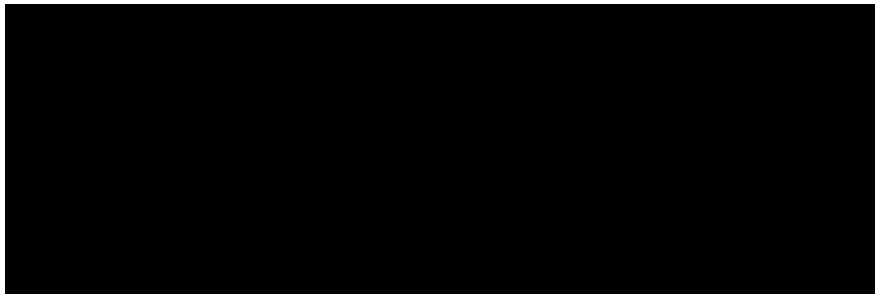


図 1 サンプル画像のキャプション

図 1 は、`'graphicx'` パッケージを使って挿入した画像の例です。

2 グラフの作成例

`'PGFPlots'` を使えば綺麗なグラフが作れます。

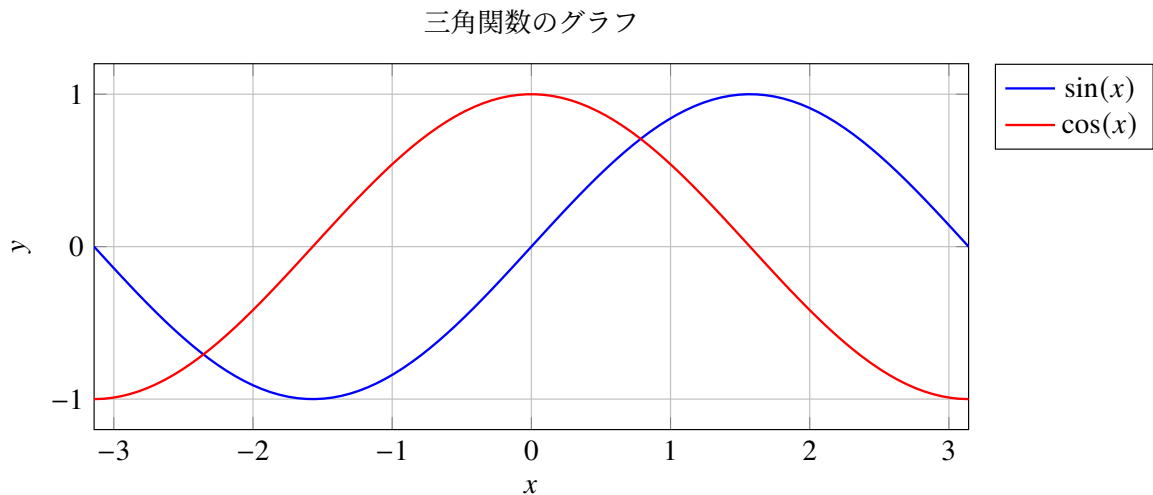


図2 PGFPlots で作成したグラフ

図2は、サインカーブとコサインカーブを描画した例です。

3 【追加機能】 綺麗な表の作り方

‘booktabs’パッケージを使うと、論文で見るようなプロっぽい表が作れます。【警告対策】 ポイントは、縦の罫線を使わず、横の罫線も`\toprule`、`\midrule`、`\bottomrule` で使い分けること！

表1 ‘booktabs’を使った綺麗な表の例

| 物質 | 密度 (kg m ⁻³) | 備考 |
|----|--------------------------|------------|
| 水 | 1000 | 標準状態 |
| 鉄 | 7874 | 常温 |
| 空気 | 1.293 | 0 °C, 1 気圧 |

表1の密度は‘siunitx’パッケージで書いています。

4 【追加機能】 ソースコードの貼り付け

‘listings’パッケージを使えば、Python や C 言語のコードもこの通り！

```

1 # This is a sample Python code.
2 def greet(name):
3     """This function greets to the person passed in as a parameter"""
4     print(f"Hello, {name}!")
5
6 if __name__ == '__main__':
7     greet('World')
```

Listing 1 Python のサンプルコード

listing 1 のように、プログラムの引用も簡単です。